令和元年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会及び春季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議

経営部会　部会長　　宮武　恭一

１．趣旨

内閣府の第５期科学技術基本計画では「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society5.0）」の実現をめざすとされている。現在においても、インターネット上の仮想空間と現実空間の境界が不明確になりつつあり、インターネット上で形成されている新たなコミュニティが発信する「推奨」の社会に対する影響力が大きくなりつつあるが、両空間の融合がすすむSociety5.0では、さらに仮想空間へのパワーシフトが起きるであろう。また、人間中心の社会では、多型・多様な人間社会における個々人の多様性をより受け入れられる技術的な基盤が整うものと想定される。

そうした中でマーケティング研究分野では、インターネット上で形成されている新たなコミュニティに着目した研究や現実空間における個々人の多様性に着目した実験的手法を用いた研究が行われているが、社会基盤が高度化するに伴って、さらに、それらの融合と統合化が求められている。そして、仮想空間と現実空間における生活者行動のあらゆる面をカバーして、人間中心のマーケティングを実現する概念としてMarketing4.0が、P.Kotlerによって提唱されている。

本研究会では、こうしたMarketing4.0に関連する新たなマーケティング・リサーチ手法についての取り組みを報告いただく。そして、それぞれの手法を導入する上でポイントとなる「測定可能性」をどのように担保しているかについて情報共有を図りながら、Society 5.0に向けたマーケティング・リサーチの可能性と課題について検討していきたい。

２．開催日時 令和元年7月18日（木）13時30分～7月19日（金）16時

３．開催場所 農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 共同利用施設

４．議事

１）研究会　7月18日（木）13時30分～17時15分

シンポジウムテーマ　「Marketing 4.0のリサーチ手法の策定と展望（仮）」

座長　河野　恵伸　氏（農研機構　食農ビジネスセンター）

【第１部　インターネット上の推奨データ分析】

１．投稿型レシピサイトデータを用いたデータマイニング（仮）  
－新技術のプロモーションのための調理レシピの選定－

竹崎　あかね　氏（農研機構　革新工学センター）

２．海外のSNSデータを用いたソーシャルリスニング（仮）  
－輸出に向けた対象国の消費者インサイトの把握－

ルハタイオパット　プウォンケオ　氏（農研機構　食農ビジネスセンター）

【第２部　実験的手法】

３．消費流通試験を用いた製品計画（仮）  
－いちご新品種の流通関係者・消費者の評価－

関口　雄介　氏（栃木県農業試験場　いちご研究所）

４．嗜好型官能試験と機器分析を用いた製品テスト（仮）  
－輸出に向けたシンガポールでのかんしょ新品種の評価－

上西　良廣　氏（農研機構　食農ビジネスセンター）

５．食事記録を用いた農産物直売所のモニター調査（仮）  
－野菜の調理に対する意識と行動、ニーズの把握－

鈴木　美穂子　氏（神奈川県農業技術センター）

６．消費者需要を測定するオークション実験の可能性と課題（仮）

鈴木　美穂子　氏（神奈川県農業技術センター）

７．アイカメラを用いた消費者行動把握の可能性と課題（仮）

山本　淳子　氏（農研機構　食農ビジネスセンター）

総合討論

２）個別報告会　7月19日（金）9時～12時

３）推進会議経営部会　7月19日（金）13時～16時

議事 (1) 平成30年度の研究成果について

(2) 令和元年度の研究の推進方向について

(3) 令和元年度秋季研究会及び推進部会の開催について

(4) その他

５．参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、その他部会長が必要と認めた者

６．連絡先

農研機構 中央農業研究センター 農業経営研究領域 経営計画グループ 担当：松本浩一

茨城県つくば市観音台2-1-18　E-mail： KTH-KeieiBukai@ml.affrc.go.jp　TEL： 029-838-8876

７．その他

参加申し込み及び作成資料等については、中央農業研究センター経営部会事務局より別途連絡する。